# LETTER LETTER

WILDLIFE RESCUE VETERINARIAN ASSOCIATION

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会



野生動物救護獣医師協会は、保護された傷病野生鳥獣の救護活動を通じて市民の野生鳥獣保護思想の高揚をはかる とともに、地球環境保護思想の定着化を目指しています。そのために、常に世界の情勢を学び、会員相互の連絡、 交流を行い、治療、研究および知識の普及をはかり、社会に貢献していくことを目的としています。

#### No.94 目次

日本鹿の去勢手術・・・・・・・・・・・・・		•	 	•	 •		•	•	•			•	•	•	•	• 2-3	,
野鳥の餌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		•	 	•	 •		•	•	•		•	•	•	•	•	• 4-5	
施設紹介-静岡市立日本平動物園 ・・・・・・・・		•	 	•	 •	•		•	•			•	•	•	•	• 6-7	
平成27年度油等汚染事故対策水鳥救護研修のご案内	• (		 •		 •	•		•	•			•	•	•	•	• 8-9	1
WR V副会長新任のご挨拶 ・・・・・・・・・・		•	 •		 •	•		•	•	•	•		•	•	•	• 10	1
現生生物に繋がる古生物の世界 ・・・・・・・・・		•	 •		 •	•		•	•	•	•			•	•	• 11	
寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		•	 •		 •	•		•	•	•	•		. •	•	•	• 11	
事務局日誌 ・・・・・・・・・・・・・・・		•	 	•	 •			•			•	•	•	•	• ]	11-12	

# 日本鹿の去勢手術

バードクリニック金坂動物病院 金坂 裕



先日、野生ではなく飼育動物ではありますが、千葉県内のある施設において、日本鹿の 去勢手術を頼まれて6頭ほど行いました。

飼育されている日本鹿ですが、広い柵の中とはいえ雌雄12頭ほどの放し飼いです。ボランティアさんも懸命な活動を行い世話に努めてまいりましたが、人手不足もあり、どうしても餌の不足、糞掃除や排水等の不備から飼育環境の悪化が進みます。もちろん去勢不妊していませんので毎年子供が生まれ、さらに事態に拍車が掛かってしまうため、ここで改めて去勢手術を行い、頭数制限を行うことになりました。

普段の犬猫の不妊去勢のように病院内で全身麻酔をかけ、麻酔をモニターでコントロールしながら無菌的に手術を行えれば、此方としても問題は無いのですが、いかんせん対象となる鹿たちは $50\sim70\,\mathrm{kg}$ の体重で角を持ち、放し飼いの状態で多少は慣れているとはいえ犬猫ほどには慣れておらず、人がようやく触れる程度です。また鹿を飼育場で捕獲後、1時間以上かけて興奮状態のまま輸送する場合、異常な高体温となってしまう可能性もあります。しかも5頭も一度に連れてくるのは不可能なため、今回は此方から飼育場へ出かけて、往診するような形になりました。

そもそも、最初に手術の相談があったのは一昨年で、飼育担当者から正式に手術以来が 出たのが昨年の冬。屋外での麻酔手術ですので、冬は避け、暖かくなり角も落ちてからの ほうが人も鹿も安全に手術が行えるので、結局今年の5月に行うことになりました。

手術前に、飼育担当者とボランティアさんとの打ち合わせをしておき、様々な機材を乗せるためのテーブルや、照明のための電源等も用意していただきました。

今回は、診療日の午後に、普通の往診のように車で容易に伺って行える距離ではなく、 鹿の飼育場まで片道1時間かかるので、当院の休診日の木曜日に行うことにしました。

鹿の飼育場へ到着してみると、ボランティアの方が県内から何人も来てくれていて、鹿の保定には人手が要るので大いに助かりました。

去勢手術に関しては、何より鹿の動きを止めなくてはなりません。これが家畜化されている子牛でしたら局所麻酔だけでできるかもしれませんが、やっと体を触れられる程度ですので、全身麻酔状態にしないと鹿も人も危険です。最初の鎮静剤でおとなしくなれば局所麻酔との併用が可能ですが、いかんせん最初の鎮静剤を打つのに一苦労です。最初の成獣3頭ほどはすんなり近寄り、臀部に注射ができましたが、後の2頭はなかなか注射できず、時間が掛かってしまいました。それでも注射を打った後10~15分ほどでフラフラとして不動化ができましたので、ボランティアの方々が抱きかかえて横になった鹿から、順次手術を行うことができました。









手術方法も普段の犬や猫を手術するように、病院内で完全に全身麻酔をかけ、毛を剃り皮膚もきれいに消毒してからメスを入れるわけにもいかず、麻酔もあまり深くかけると覚醒に時間が掛かりすぎ、浅すぎて興奮させると高体温を起こす可能性もあります。術野を消毒液で洗浄消毒をするのが精一杯で、局所麻酔を施して切開します。電気メスを使える場所でもなく、動脈の止血も結紮糸を使うと汚染で化膿する危険もあるために、Henderson式(捻転式去勢方法)で行いました。

術後の抜糸もできないために、切開創をそのままにする牛の手術方法で、まるで野戦病院状態です。抗生剤を注射して、鎮静剤の拮抗薬を注射すると15分ほどで自力で立ち上がり、牧草を食べだしたので、一安心。これを予定通り5頭繰り返したら、もう1頭、これは昨年生まれの子鹿で、角が伸びてきたのでオスらしい。これも去勢しておかないとまた来年子供が生まれてしまうとのことなので、急遽追加手術となりました。沈静をかけてメスを当てると、これがまだ子供なので精巣が小さい!一つは摘出できたのですが、片方が縮みあがってお腹の中へ潜ってしまいました。立位でしたらまだ良かったのでしょうが、結局一つ残しとなってしまいました。今年生まれる子鹿もいるので、また次回に手術することになりました。

術後も全頭すぐに覚醒して、翌日には何事も無かったような生活をしていますので、一件落着です。ちなみにこの手術はボランティアでさせていただきました。





# 野鳥の餌

## バードクリニック金坂動物病院

野鳥を保護した場合に、鳥の種類が判っても、餌にどのようなものを与えるか不明なことが多いようで、 問い合わせが多くあります。これまで保護された事のある鳥を中心に、当院で与えている餌を表にしてみ ました。これが完全なものとは思いませんが、参考になればと思います。

種類	幼鳥(さし餌)	成鳥(自力採食)					
スズメ、ホオジロ類	7 分餌、昆虫、栗玉	4分餌、粒餌、青菜					
キジバト、ドバト	粟玉に少量の擂餌 フォミュラー	ハト餌、塩土、青菜					
ムクドリ	7分餌、昆虫	5 分餌、九官鳥フード、昆虫、果実					
カラ類(シジュウカラ、他)	7 分餌、昆虫、卵黄 ピーナッツ粉	4 分餌、昆虫、卵黄、ピーナッツ、粒餌					
カラス類(カラス、オナガ他)	ドッグフード、7 分餌 九官鳥フード	4 分餌、昆虫、九官鳥フード					
ツバメ	7 分餌、昆虫	5分餌、昆虫					
ヒヨドリ	青菜を多く擂りこんだ5分 果実、昆虫	3 分餌、九官鳥フード、果実、奨果類					
ヒバリ	7分餌、昆虫	5分餌、昆虫					
メジロ	青菜を擂りこんだ5分餌、	3 分餌、果実、奨果類					
ウグイス、ムシクイ他	7 分餌、昆虫 卵黄(茹)	5 分餌、果実、奨果類					
ヒタキ類	6 分餌、昆虫、茹卵	4 分餌、奨果類					
大型ツグミ類	7 分餌、昆虫、ミミズ	4 分餌、昆虫、ミミズ、奨果類					
小型ツグミ類	7 分餌、昆虫	4 分餌、昆虫、奨果					
アトリ類	5 分餌、粟玉、文鳥用のパウダーフード	3 分餌、青菜、粒餌					
カッコウ類	7 分餌、昆虫	5 分餌、昆虫、九官鳥フード					
モズ	7分餌、昆虫	5分餌、昆虫					
ヨタカ	5 分餌、昆虫、九官鳥フード	犬猫用流動食の強制給餌					
キツツキ類	7分餌、昆虫	5 分餌、昆虫、奨果類					
セキレイ	7 分餌、昆虫、冷凍赤虫、ミルウォーム	5 分餌、水生昆虫、冷凍赤虫、ミルウォー					
		4					
タカ、ハヤブサ類	ドッグフード(缶詰)、マウス、獣肉等						
海鷲類、トビ	ドッグフード(缶詰)、マウス、獣肉等						
魚食の猛禽(ミサゴ等)	小魚、犬猫用流動食の強制給餌						
中型フクロウ	ドッグフード(缶詰)、青菜を擂りこんだ九官鳥フード、マウス、獣肉						

小型フクロウ	青菜を擂りこんだ九官鳥フード、ドッグフード(缶詰)、ピンクマウス、刻みマウス、昆虫								
淡水鴨類	水に浮かせたヒヨコ、アヒル用配合飼料	水に浮かせた鶏、アヒル用配合飼料							
	ドッグフード、九官鳥用の餌、青菜	九官鳥用の餌、青菜							
海鴨類	鶏の餌、貝類、水生昆虫、小魚								
カモメ、ミズナギドリ他	小魚、「	小魚、烏賊、貝							
サギ類	小魚(フナ、ドジョウ、金魚)、甲殻類、水生昆	小魚(フナ、ドジョウ、金魚)、甲殻類、水生昆虫等							
カイツブリ	小魚(フナ、ドジョウ、金魚)、甲殻類、水生昆	小魚(フナ、ドジョウ、金魚)、甲殼類、水生昆虫等、							
キジ、コジュケイ類	昆虫類、ヒヨコの餌、ゆで卵の黄身、	鶏の餌、青菜、ミミズ、昆虫							
	青汁、ドッグフード、九官鳥フード								
パン、クイナ他	7分の擂餌、昆虫、卵黄	5 分の擂餌、昆虫、鶏の餌							
タシギ、ヤマシギ類	7分の擂餌、水生昆虫、卵黄、小魚 鶏の餌、水生昆虫、小魚、ミミズ								
シギ、チドリ他	水に浮かせたヒヨコ、アヒル用配合飼料、ドッグフード、九官鳥用の餌、青菜、擂餌、								
	オキアミ等の小エビ、キャットフード(缶詰)、ゴカイ等								

ここでよく使われる餌として「擂餌(すりえ)」があります。擂餌には3分餌、5分餌、7分餌等があり、 材料には上餌(植物性の玄米,大豆,麦粉、米糠等)と下餌(動物性の普通魚粉)が配合され、上餌の重量10に対して下餌が5の混合の場合、これを5分餌と呼びます。殆どの鳥は5分餌が基本となりますが、 雛の時は7分餌が基本となります。あくまで代用食です。

与え方は小松菜等の青菜を少量すり鉢ですり、適宜水を加えて味噌程度の硬さにします。

竹ベラの先に載せて雛の口に入れて食べさせます。1度に食べる分量ずつ1~2時間間隔で与えます。

巣立ち雛で警戒して口をあけない場合は強制的に与え、竹べらを喉の奥に入れて前後させ、親の餌の与 え方を真似るようにすると、雛は食べ方を覚えます。







注意する点ですが、口の周辺が餌で汚れますので、お湯をつけた筆や綿棒で掃除すること、餌を食べた後は尻を持ち上げて排便をするので、その便も取り除きます。便が残っていると指に付着して固まり、指の脱落を招きやすくなります。また、餌を与える以外は人が近づかないようにします。雛に擂餌(すりえ)を与えているときは、水で身体を濡らして冷やしてしまうために、飲み水は置かないようにします。

雛の成長とともに、それぞれの鳥が本来自然界で食べている餌を与えます。できれば昆虫食の鳥は生きた昆虫を捕まえて食べさせ、揺れる枝に止まることができるよう、揺れるとまり木などもセットします。 水浴びも充分にさせて、羽を痛めない鳥かごや鳥小屋で、十分な運動訓練をしてから放鳥すれば理想的でしょう。 施設紹介

# 静岡市立日本平動物園

〒422-8005 静岡市駿河区池田 1767 番地の 6

TEL: 054-262-3251, FAX: 054-262-3489

静岡県市立日本平動物園 動物病院係 獣医師 塩野 正義

#### 【静岡市立日本平動物園について】

静岡市立日本平動物園は、昭和44(1969)年8月1日に開園した、静岡県のほぼ中央に位置する名勝「日本平」の中腹にある動物園です。平成21年度に完成した猛獣館299を始め、園全体をリニューアルするべく再整備を進め、平成25年度に「驚きと感動、そして夢のある動物園」としてグランドオープンしました。

当園は、静岡県の「鳥獣保護管理事業計画」に基づき、傷病野生鳥獣の救護・治療・野生復帰を行う傷病 野生鳥獣保護センター業務を受託しています。そして、県中部、東部、富士山麓及び伊豆地方といった広範 囲から多くの傷病野生鳥獣の受け入れを行っています。また、エリアの北には南アルプスが、南には駿河湾 があり、保護収容される鳥獣は多種多様です。

施設は当園動物病院内にあり、園内飼育動物の診療スタッフが兼務で保護業務を行っており、現在、常勤職員(獣医師)3名及び非常勤職員(飼育員)3名の計6名体制となっています。施設内には、処置室兼手術室、レントゲン室、哺育室、孵卵室、育雛室、野生鳥飼育室2室、野生獣飼育室があります。







動物病院外観

育雛室

日本平山頂での放鳥

#### 【業務内容】

当園へは、一般県民、静岡県の担当部署(各農林事務所及び自然保護課)、本市中山間地振興課及び民間動物病院等から、昼夜を問わず傷病野生鳥獣が運び込まれ、救護、治療及び野生復帰を行っています。それらの鳥獣の多くは負傷あるいは疾病に罹患していますが、巣立ち前後のひなも多く搬入され、春~夏は育雛室がいっぱいになります。

年に一度、動物病院のズースポットガイドというイベントを実施し、来園者の見学する機会を設けて自然 環境教育の普及啓発を行っています。

また、傷病鳥獣の救護・治療・野生復帰だけでなく、公衆衛生上の役割も担っています。特に、県・市の 各関係機関と連携し、人獣共通感染症を含めた家畜伝染病の発生徴候を見極め、発生時には適切かつ迅速な 対応を取ります。

#### 【野生鳥獣の保護状況】

平成18年度から平成26年度までの過去9年間における、当園に持ち込まれた傷病野生鳥獣の総件数は4,044件で、内訳は鳥類3,639件、獣類381件、爬虫類24件です。鳥類の保護が全体の90%を占め、次いで獣類9.4%、爬虫類0.6%です。

鳥類の保護原因は、幼鳥の誤認保護を含む人身によるものがもっとも多く、次いで成鳥の骨折・外傷、 衰弱・削痩が多い傾向にあります。獣類では、幼獣・成獣ともに皮膚疾患による原因での保護が多く、 次いで骨折・外傷、衰弱・削痩です。特に、疥癬症(ホンドタヌキ)や伝染性膿疱性皮膚炎(ニホンカ モシカ)に罹患している個体が多くいます。爬虫類では、特に異常のない個体が多く保護されています が、他に外傷や眼疾患等がみられます。

種別保護状況を見ると、鳥類ではツバメ 15.7%、キジバト 13.5%、ドバト 9.3%、スズメ 6.9%です。この4種で全鳥類保護数のほぼ半数を占めています。獣類では、ホンドタヌキ 28.9%、アブラコウモリ 20.7%、ハクビシン 17.6%、ニホンカモシカ 7.1%です。ホンドタヌキとアブラコウモリのみで、全獣類保護数の半数近くを占めています。爬虫類では、アオダイショウ、シマヘビ、クサガメ、ニホンスッポン等が保護されています。

最後になりますが、当園は年末年始と休園日(毎週月曜日、休日の場合は翌日)を除いて9時から16時半まで開園しています。静岡へお越しの際には、是非日本平動物園へご来園ください。







野生鳥飼育室



伝染性膿疱性皮膚炎のニホンカモシカ

#### <最近三カ年の保護状況>

年度	,	鳥類	Ě	<b></b>	爬虫類				
十段	保護数	放鳥数	保護数	放獣数	保護数	放野数			
平成 24 年度	330	96	47	4	1	1			
平成 25 年度	322	128	23	3	3	1			
平成 26 年度	321	138	27	2	0	0			

#### 平成27年度 油等汚染事故対策水鳥救護研修のご案内

WR V事務局 曽根友希恵

近年、日本では全国各地で海洋における油等汚染事故が発生しています。1997年には、ナホトカ号事故が発生しました。この事故では、推定約 6,240kl におよぶ重油が流出し、1,315 羽もの油汚染鳥が保護収容されました。島国である日本では、今後も、同様の規模の事故が発生する可能性が十分あります。そのため、環境省自然環境局では、油等汚染事故などの発生時に、海洋保全と野生生物保護の観点から、迅速かつ的確に対応できるよう、「油等汚染事故対策水鳥救護研修」を例年開催しています。

「油等汚染事故対策水鳥救護研修」は、今年も東京都日野市にある環境省水鳥救護研修センターにて開催致します。2000年の当センターの開所以来、継続的に実施している本研修には、例年多くの行政担当者、獣医師、動物園・水族館、NPO・NGO等関係者の方々にご参加いただいております。当協会は本年度も引き続き環境省より委託を受け、本研修の運営を担当させていただきます。

本研修は、油防除、傷病鳥獣の保護等に関する必要な技術・知識を習得すると共に、関係機関、団体との連携協力体制の構築と確保を推進するために実施するものです。

研修では、油汚染鳥の救護法を始め、油流出事故の基礎知識、法体制及び事故対策や情報体制等に関する講義を各分野の専門家により行い、研修の最後には生体を用いた洗浄実習を実施します。

また、年間3回行う研修を「現場救護リーダー向け」と「鳥獣保護行政担当者向け」に分けて開催し、前者では、実習時間を多く取り、リハビリプールの設置実習や重油の特性実験を行うなど、実際の現場対応で必要となる技術・知識、感覚を得てもらえるような内容に、後者では、国の油等汚染事故対策や情報体制等に関する講義等を行い、事故が発生した際に必要とされる行政の対応や事前準備に重点を置いた内容となっています。

会員の皆さまには、是非、本研修にご参加いただき、そこで学ばれた事を職場における事前 準備や実際の事故対応にお役立ていただきたく、改めてよろしくお願い致します。

研修の詳細案内および参加申込み用紙は、環境省水鳥救護研修センターホームページまたは 野生動物救護獣医師協会ホームページからダウンロード可能です。ご質問等ございましたら、 環境省水鳥救護研修センターまでお気軽にご連絡ください。

・環境省水鳥救護研修センター

TEL 042-599-5050

URL http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/oiled-wb/

・野生動物救護獣医師協会 URL http://www.wrvj.org/



生体を用いた洗浄実習



リハビリプールの設置実習

#### 平成27年度「油等汚染事故対策水鳥救護研修」実施案内

目的:油等汚染事故発生時に、野生鳥獣保護の観点から迅速かつ的確に対応できるよう、油等に汚染された水鳥の救護等に関する共通認識と技術を習得することを目的とする。

日程: 第1回: 現場救護リーダー向け 平成27年11月9日(月)、10日(火)

第2回:現場救護リーダー向け 平成27年12月7日(月)、8日(火) 第3回:鳥獣保護行政担当者向け 平成28年1月20日(水)、21日(木)

現地研修:開催地は鹿児島県 平成28年2月予定

\*現地研修には実習がございません。

現地研修の募集については別途ご案内致します。

内容:以下のような事項に基づき、講義および実習形式で研修を行う。

- ① 油等汚染事故における行政の役割対応
- ② 油等汚染事故の基礎知識
- ③ 日本の油等流出事故時の情報体制
- ④ 水鳥の生態
- ⑤ 油汚染鳥の保護法・治療法・洗浄法
- ⑥ その他

\*鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで内容が若干異なります。

会場:環境省 水鳥救護研修センター研修室

〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL 042-599-5050 FAX 042-599-5051 HP http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/oiled-wb/

対象:国・地方自治体の鳥獣行政等職員、鳥獣保護センター等職員、獣医師、 鳥獣保護員、動物園・水族館職員、水鳥救護に携わる関係者等

定員:1回あたり30名(先着順)

\*申し込みは各開催日の2週間前まで。定員になり次第締め切り。

参加費:無料(参加のための交通費、宿泊費等は自己負担)

申込用紙:別紙

申込先:環境省 水鳥救護研修センター

〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL 042-599-5050 FAX 042-599-5051

主催:環境省

請負:特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会 (WRV)

### WRV 副会長新任のご挨拶

新ゆりがおか動物病院院長

小 松 泰 史

新ゆりがおか動物病院院長の小松です。今年度から NPO 法人 野生動物救護獣医師協会(WRV)の副会長に就任することになりま した。WRV が 1991 年に東京都の臨床獣医師により発足して以来、 継続して理事として活動してまいりましたが、今回副会長として の任をお受けいたしました。新妻会長、大窪副会長、役員各位、 事務局とともに WRV の活動理念であります「物言わぬ野生動物 の代弁者となって、ヒトと野生動物が持続的に共生できる環境を つくる」ことを念頭に更に活動してまいりたいと思います。



正会員、特別(ボランティア)会員、賛助会員の皆様、持続可能な生物多様性の保全のため、 WRV の活動を今後とも継続してご協力、支えていただけますようお願いいたします。

最後に、会員各位のそれぞれのご活躍とご健康を祈念しまして、副会長新任のご挨拶とい たします。

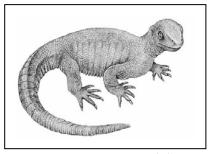
※ 本年4月より、WRVの新たな監事として、町田忠彦先生にご就任いただいております。 町田先生は、長年にわたって、東京都練馬区にある町田家畜病院の院長としてご活躍されてきた方です。

WRVの新妻勲夫会長とは、以前より地元獣医師会の青色申告会等でも活動を共にされ、 良き理解者でおられますので、この度、将来に向けてご協力を賜ることになった次第です。

- ※ なお、これまで長きにわたり監事をお勤めいただいた公認会計士の小森輝於先生には、 ご退任後も、引き続きWRVの会計事業にご協力いただいておりますので、今後ともよろ しくお願い申し上げます。
- ※ 2010年1月より、WRVの経理担当としてご尽力いただいておりました筧洋二さんが、 都合により、4月末日をもちまして退任されました。足掛け6年にわたり、本協会のため に力を尽くしていただきましたことに、改めて深く感謝申し上げたく存じます。

#### 現生生物に繋がる古生物の世界

地球上に最初の生物が誕生したのは、今から40億年ほど前とも言われて いますが、それ以来、いったいどれくらいの種が登場しては消えていったので しょうか。想像するだけで気が遠くなりそうですが、その一端を知る手掛かりと なるのが化石です。化石から明らかにされていく生物の大半は、既に絶滅して しまった古生物ということになりますが、未知の生物の確認(発見)という点では、 現代における新種の発見と同等の価値があると言えます。そして昨今、この古 生物における様々な発見が、止まるところを知らない状況となってきております。



Pappochelys rosinae の想像図 (提供:Stuttgart 自然史博物館)

出席:新妻、小松

出席:新妻、小松

対応:皆川

対応: 皆川

対応:箕輪

今年に入ってからも、既にいくつかの大きなトピックを数えることができます。例えば、6月に英科学雑誌である 『Nature』(電子版)に、カメの仲間の祖先に当たるとされる Pappochelys rosinae という新種に関する論文が発表さ れました。発見されたのは、三畳紀中期(2億4000万年前)の地層。この種にはまだ甲羅はありませんが、化石から、 背部から胸部や腹部にかけて幅の広い骨が密集して生えていたと推定され、これらが将来、甲羅の形成へと進化し ていったものと考えられる訳です。

一方、7月には、米科学雑誌である『Science』に、今度はヘビの仲間の祖先に当たるとされる Tetrapodophis amplectus という新種に関する論文が掲載されました。発見されたのは、白亜紀初期(1億数千万年前)の地層。こち らは体長が十数センチしかありませんが、前後に4本の足を備え、それぞれの足には5本の指もあるということで、そ の足はかなり小さいことから、移動ではなく、獲物の捕獲や交尾の際に使用されたものと推定されています。

これらはほんの一例ですが、ここ四半世紀の間に、羽毛恐竜から鳥類への進化の過程や、哺乳類の誕生に至る 過程など、化石を通して様々な古生物に関する知見が次々に得られるようになってきました。

現在、地球上に生息しているあらゆる生物種は、すべて過去に生息していた生物種の子孫ということになります。 つまり、現生種には、必ず祖先にあたる種が存在していたことになる訳です。様々な化石によって確認される生物種 の大半が、ある時点で子孫に繋がることなく絶滅してしまったものと考えられる中、特に上記のような種については、 現生種に直接繋がっている種である可能性が非常に高いものと考えられます。まさに遠い時空を超えて、現生生物 に繋がる古生物の存在・・・・・。そこにロマンを感じるのは、私ばかりではないのではないでしょうか。

読者の皆様にも、時には今、目の前に存在している生物種だけでなく、遠い昔、この地球上に存在していた様々 な古生物に思いを馳せていただくと、より広大無辺な生物の世界を感じ取っていただくことができるのではないかと 思う次第です。 (WRV事務局 箕輪 多津男)

#### 【 事務局より寄付のお礼 】 寄付ご協力者(敬称略)(平成 27 年 6 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日)

○寄付金(一般)2015.7.23 白倉 豊 5,000円

#### 事務局日誌 2015.6.14~2015.9.13

=== 6月 ===

21:(公社)東京都獣医師会 第4回定時総会 (ホテルルポール麹町)

22: 第72回日本獣医師会総会(明治記念会館)

22: 第26回わいわいサロン(かながわ県民サポートセンター) [神奈川支部]

25: WRV ニュースレターNo.93 発行

26: 東京環境工科専門学校 救護実習 (野生動物ボランティアセンター)「神奈川支部]

28:災害動物医療研究会・「研修プログラム作成」ワークショップ(日本獣医生命科学大学) 出席:羽山、皆川

29:帝京科学大学·救護実習:初期対応(帝京科学大学)

30: 帝京科学大学·救護実習(帝京科学大学)[神奈川支部] 対応:皆川

=== 7月 ===

01:帝京科学大学・救護実習(帝京科学大学)[神奈川支部] 対応:皆川

02: 帝京科学大学・油汚染鳥救護実習(環境省水鳥救護研修センター) 対応:皆川、箕輪、曽根、藤平

04:麻布大学同窓会 理事会(麻布大学) 出席:新妻

04:野生動物リハビリテーター養成講習会実習編<東京会場>(東京環境工科専門学校)[神奈川支部] 対応:皆川、曽根

04:日本動物看護学会(日本獣医生命科学大学) 出席:梶ヶ谷、箕輪

05: 傷病施設等見学会、ミゾゴイ(傷病個体)のガイド(横浜市立野毛山動物園)[神奈川支部] 対応:皆川 10: 東京環境工科専門学校 救護実習 (野生動物ボランティアセンター) [神奈川支部] 対応:皆川 出席:新妻、小森、箕輪 11:会計に関する打合せ(立川事務所) 12: ミゾゴイ(傷病個体)のガイド(横浜市立野毛山動物園) [神奈川支部] 対応:皆川 13: 帝京科学大学·救護実習: 初期対応(帝京科学大学) 対応:箕輪 14,15: 帝京科学大学・救護実習(帝京科学大学)[神奈川支部] 対応:皆川 16: 帝京科学大学・油汚染鳥救護実習(環境省水鳥救護研修センター) 対応:皆川、箕輪、曽根 18,19,20:ミゾゴイ(傷病個体)のガイド(横浜市立野毛山動物園)[神奈川支部] 対応:皆川 19,26: 『海の生き物 SOS 展』 ワークショップ (よこはま動物園) 対応:皆川 20:神戸国際会議 災害動物医療シンポジウム (神戸大学) 出席:羽山、皆川 22:「けがで保護、フクロウ巣立ちへ」読売新聞記事(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応:馬場、皆川 23: 東京環境工科専門学校 インターンシップ (野生動物ボランティアセンター) [神奈川支部] 対応: 皆川 25:災害動物医療研究会・「獣医師による災害対策および対応」セミナー(日本獣医生命科学大学) 出席:羽山、皆川、箕輪 26:神奈川県自然環境保全センター・傷病施設見学会[神奈川支部] 対応:皆川、箕輪 26~30: Vth International Wildlife Management Congress 2015 (札幌コンベンションセンター) 出席:加藤 27: 帝京科学大学・油汚染鳥救護実習 (環境省水鳥救護研修センター) 対応:皆川、箕輪、曽根 30~8.2:第21回日本野生動物医学会 出席:羽山、加藤 === 8月 === 03: 青色申告会6団体交歓会(勤労福祉会館) 出席:新妻、町田 03:東京都日野市・ロードキル調査 基礎情報交換会 (多摩平交流センター) 出席:梶ヶ谷、箕輪 08: ミゾゴイ(傷病個体)のガイド(横浜市立野毛山動物園) [神奈川支部] 対応:皆川 09:第4回大阪野生動物リハビリテーター養成講座・第1回講習(ペピイ動物専門学校)[大阪支部] 対応:中津 09: 多摩川釣り針・釣り糸実熊調査(多摩川)「神奈川支部] 対応:皆川 11:講義・実習等に関する打合せ(日本獣医生命科学大学) 対応:加藤、箕輪 13: 東京都外来種対策情報連絡会(都民ホール) 対応:加藤 19: 東京環境工科専門学校 インターンシップ (野生動物ボランティアセンター) [神奈川支部] 対応:皆川 19: 第27回わいわいサロン(かながわ県民サポートセンター)[神奈川支部] 対応:皆川 22: 野生動物リハビリテーター養成講習会実習編<東京会場>(東京環境工科専門学校)[神奈川支部] 対応: 皆川、曽根 24: 東京環境工科専門学校・油汚染鳥救護特別実習 (講義) (専門学校) 対応:皆川 25: 東京環境工科専門学校・油汚染鳥救護特別実習(水鳥救護研修センター) 対応:皆川、箕輪、曽根 26:テレビ撮影協力(日本テレビ 天才!志村どうぶつ園 9/12 放送)[神奈川支部] 対応: 皆川 28:会計に関する打合せ(立川事務所) 対応: 小森、箕輪 29:日獣大獣医学科・野鳥救護実習(水鳥救護研修センター) 対応:羽山、加藤、皆川、曽根 30:日獣大獣医学科・水鳥救護実習(水鳥救護研修センター) 対応:加藤、皆川、箕輪、曽根 30:第4回大阪野生動物リハビリテーター養成講座・第2回講習(ペピイ動物専門学校)「大阪支部] 対応:中津 === 9月 === 03: テレビ撮影協力(日本テレビ 天才! 志村どうぶつ園 9/12 放送) [神奈川支部] 対応:皆川 04: 東京環境工科専門学校 救護実習 (東京環境工科専門学校) [神奈川支部] 対応:皆川 05:野生動物リハビリテーター<東京会場>修了者・傷病施設見学会(金沢動物園)[神奈川支部] 対応:皆川、箕輪 06: ミゾゴイ(傷病個体)のガイド(横浜市立野毛山動物園)「神奈川支部」 対応:皆川 06~09:第158回日本獣医学会・学術集会(北里大学) 出席:羽山、加藤 08:第101回日本獣医学会総会(北里大学) 出席:新妻 12:麻布大学創立125周年記念式典(麻布大学) 出席:新妻 13: 関東・東京合同地区獣医師大会 (パシフィコ横浜) 出席:新妻、小松

#### 野生動物救護獣医師協会 (ホームページ) http://www.wrvj.org/ (E-mail) kyugo@wrvj.org

NEWS LETTER No. 94 2015.9.25 発行

発 行:特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

事務局: 〒190-0013 東京都立川市富士見町 1-23-16 富士パークビル 302

TEL: 042-529-1279 FAX: 042-526-2556

発行人:新妻 勲夫 編集文責:小松 泰史 編集担当:箕輪多津男